

WE LOVE 北鯖石 はばたこう未来へ！

北 星



柏崎市立北鯖石小学校

学校だより 382号

令和3年 1月 20日 発行

柏崎市 中田1743-2

TEL 0257-22-4454

FAX 0257-20-1753

E-mail kitasaba@kenet.ed.jp

明けましておめでとうございます。～後期後半スタート～

1月7日より後期後半が順調にスタートしたと思ったら、記録的な豪雪となりました。地域の皆様におかれましても除雪等で大変な苦勞をされていることと思います。心からお見舞い申し上げます。

さて、11月下旬の市内小学校における新型コロナウイルス患者発生により、様々な教育活動が中止縮小され、皆様にご心配とご迷惑をおかけしているところです。その後、当校では、市教育委員会から示されたガイドラインをもとに感染症対策を再点検し、学校医からの指導の下、実態に応じたガイドラインを策定いたしました。今月から、当校のガイドラインに沿った教育活動を行います。

そのガイドラインに従いますと、消毒作業や換気等については、従来から十分に行われていたものを継続し、気を緩めることが無いようにいたします。また、新たにパーテーションを設置したり、職員はスマホのGPS機能により行動履歴を記録したりするなど、必要な措置を講じました。しかし、当面の課題は、音楽の歌唱指導等の大きな声を出す活動、大勢が狭い空間で集まる集会活動、外部の人達と接する活動等に制限があることです。市内小学校のクラスター発生を教訓とし、今後も3密を避ける行動、マスク・手洗い・うがい等、基本的な感染症予防の対策を十分にとり教育活動を行っていきます。

12月に行われた保護者アンケートの中に「コロナだから中止ではなく、この状況でどうやってできるかを考えて学校も地域も取り組んでほしい。」「北鯖石小はコロナ禍でも中止せず行事をしていただきありがたい。保護者でも協力できることはするので声がけしてほしい。」という温かい言葉が寄せられています。同時に、学校の責任も重く受け止めています。子どもたちにとっての一日一日は本当に貴重な時間で、短い期間でも様々な体験を積み重ね、日々成長します。子どもたち一人一人の健やかな成長を支える学校本来の役割を果たすべく、職員が一丸となって教育活動を推進していきます。（今後の主な活動については、最後のページをご覧ください。）



14日登校の様子、道路は渋滞



教務室と一部の教室にパーテーション



階段手摺の抗菌シート、保護者様からご寄付していただきました。

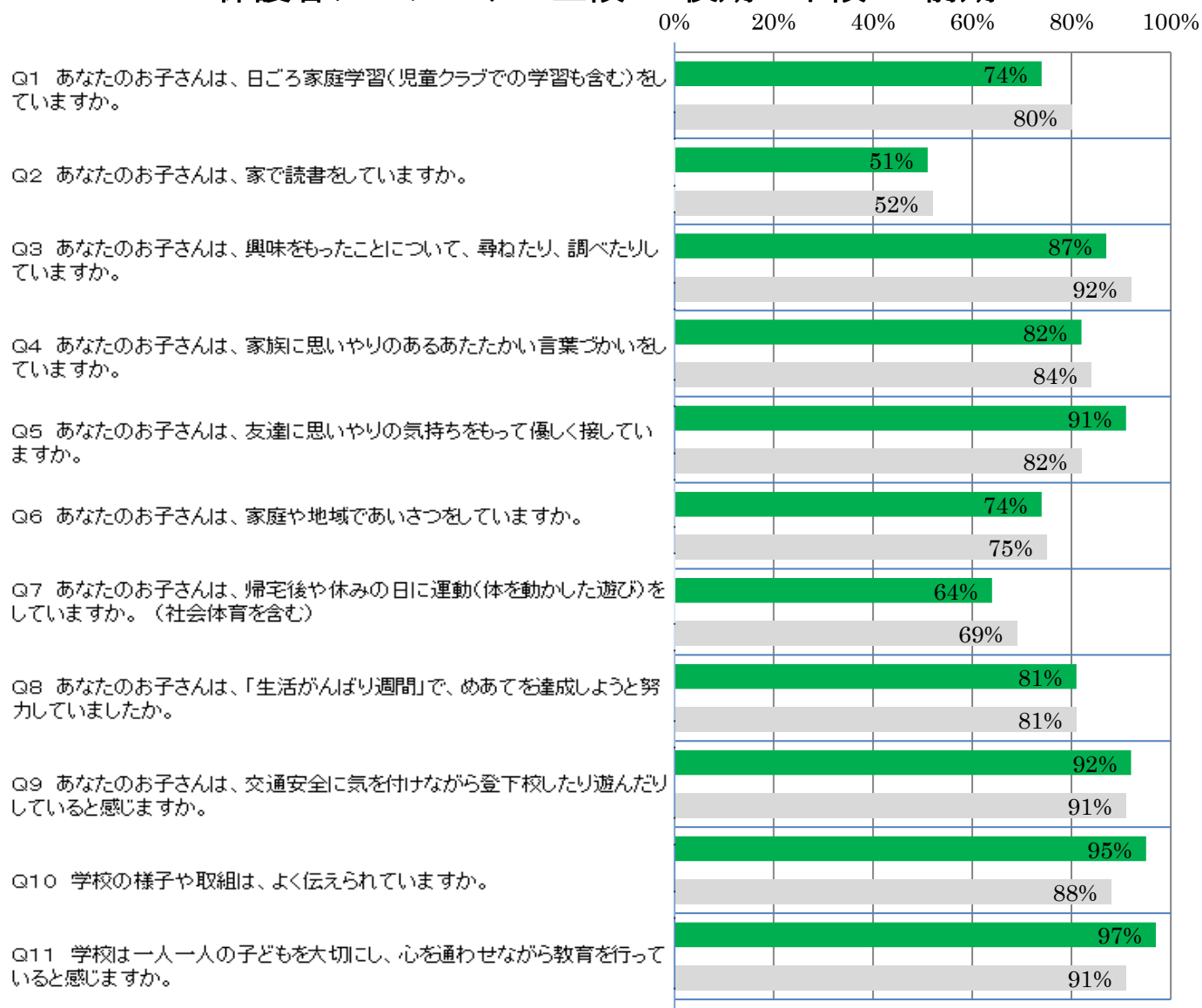
～第2回 学校評価の結果から～

12月に実施した教育活動評価(保護者アンケート・児童アンケート)の結果をお知らせします。ご多用の中アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

児童アンケートでは、多くの項目について肯定的評価の数値が伸び、一人一人の「頑張った」「また頑張りたい」という意欲が感じられる結果となりました。夏休み明け、制限された状況もありましたが、保護者の皆様のご理解とご協力の下、様々な行事や活動を実施することができました。学校生活が楽しい、行事やファミリー活動での協力、友達との関わりなどの項目で、特に児童の肯定的評価が高く、行事や体験活動で仲間と関わる経験は児童の貴重な学びとなることを改めて実感しています。

保護者アンケートでは、友達に優しくする、学校での取組の周知の項目で特に数値が伸びました。こちらでも教育活動の本格的な再開に関わっていると感じます。各学年の活動を含め、例年通りの実施が難しいものもある現状ですが、できる限りの工夫をしながら、生き生きと活動する児童の様子をお伝えしていけたらと思います。

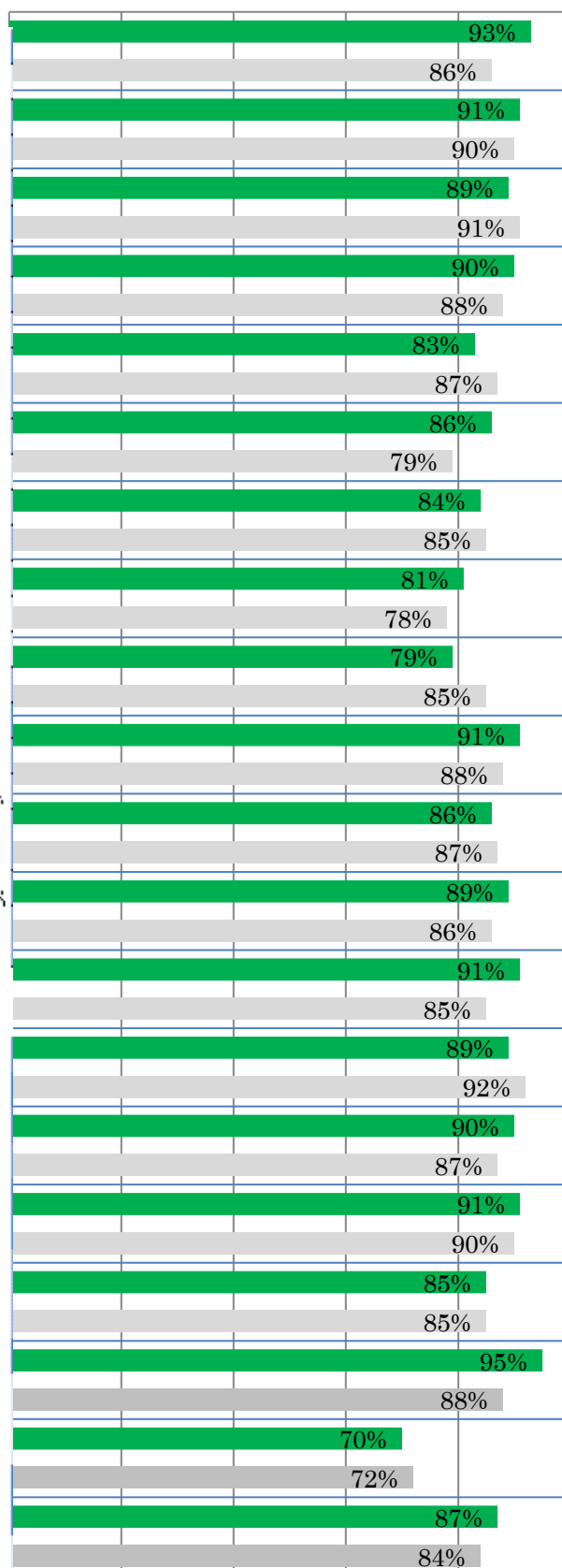
保護者アンケート 上段:R2後期 下段:R2前期



児童アンケート 上段:R2後期 下段:R2前期

0% 20% 40% 60% 80% 100%

- Q1 学校生活は、楽しいですか？
- Q2 自分のめあてをたてて、めあてに向かってがんばりましたか。
- Q3 毎日家庭学習に取り組んでいますか。
- Q4 自分の考えをもって学習に取り組むことができましたか。
- Q5 友だちの考えを聞いて、自分の考えを広げたり深めたりすることができましたか。
- Q6 学習のふり返しをして、もっと学習したい、次もがんばりたいという気持ちになりましたか。
- Q7 本を読むことは好きですか。
- Q8 金曜日に借りた本を、1週間で読み終えましたか。
- Q9 自分から元気よくあいさつをしましたか。
- Q10 友だちとなかよく生活することができましたか。
- Q11 だれに対しても「ふわふわ(プラス)言葉」をかけることができましたか。
- Q12 友だちやほかの人のことを考えて、思いやりのある行動ができましたか。
- Q13 ファミリーの仲間と協力して活動したり、なかよく遊んだりすることができましたか。
- Q14 自分のめあてに向かって運動に取り組みましたか。
- Q15 運動することやスポーツをすることが好きですか。
- Q16 体育の授業は、楽しいですか。
- Q17 生活がんばり週間では、自分のめあてを達成できましたか。
- Q18 行事や活動では、自分のめあてに向かって力を出し切りましたか。
- Q19 自分には、よいことがありますか。
- Q20 ESDマンになるために、「自分だけでなく、みんなのために」「今だけでなくこれからもずっと」と考え、活動に取り組みましたか。



皆様からの評価や貴重なご意見をもとに、学校では教育活動の振り返りを行い、今後の教育活動に生かして参ります。今後も何かお気づきの点やご意見等がありましたら、遠慮なく学校へお知らせください。

保護者アンケート自由記述について

たくさんの貴重なご意見ありがとうございました。コロナウイルス感染症の対策をとりながら、できる範囲で学校行事や校外学習等の教育活動を進めてきました。少しずつ教育活動を再開する中で、今まで当たり前のように行われてきた通常の教育活動がどれほど貴重なものであったかを感じ取ることができました。保護者の皆様からも同様の記述が見られました。

「これからの多様化社会に向けても、地域での活動や人とのコミュニケーションが大切だ。」というご意見がありました。徐々に教育活動が再開される中で、子どもたちが生き生きと取り組んでいる様子からも「かかわり」の大切さを感じます。座学では得難い学びがあるのだと思います。今後も、感染状況等に注意を払い、体験や人との関わりを大切にしたい教育活動を可能な限り進めていきます。

また、感染状況に対応した学校の取組に対して肯定的な記述が見られました。12月に行った個別懇談では、「状況に応じたZOOMでの懇談は助かった」というご意見をいただきました。1学年の発表朝会でも、試験的にZOOMを活用して保護者の皆様に視聴していただきました。どのような状況であろうが、家庭・地域と連携していくことは学校運営において欠かせないことです。家庭・地域との連携や、教育活動の発信等を見通したICT機器やホームページ等の環境整備を進めていきたいと思えます。

その一方で、あいさつが課題として見られました。子どもの数値評価は84%あり、比較的「できた」と肯定的に捉えているようです。しかし、「地域の方へのあいさつ」となると、7月の評価より4%下がりました。あいさつは、ただ声を出すだけではなく、どのようにするかも大切なことかと思えます。現在は元気よく大きな声でのあいさつはできませんが、相手の顔を見て届く声であいさつをする習慣は大切です。これこそ、家庭・地域・学校が確実に足並みを揃えて子どもたちに働き掛けたいことだと感じました。

まだ、完全に通常通りとはいきませんが、今回のご意見を参考にしながら、必要な対応をとり、充実した教育活動の推進を目指していききたいと思います。今後とも、これまで同様のご協力をよろしくお願いいたします。

校内書初め大会 1月7日(木) 登校初日

今年は例年とは違い、年明けの登校初日に書初め大会を行いました。初日に全校で書初めをすることで、気持ちを引き締め、学校生活をスタートするためです。

12月から書き初めの練習に取り組み、この日が本番です。当日、1・2学年は硬筆、1～5学年は毛筆で書初めをしました。子どもたちは時間いっぱい集中して取り組み、一生懸命に一画一画を丁寧に書いていました。子どもたちの作品は、これまでの成果を発揮した素晴らしいものとなりました。



1～2月の主な教育活動

1月 7日(木)	書初め大会 1・2学年は教室、3～6学年は体育館 例年通り
1月 22日(金)	学校保健委員会 子どものみで実施、例年保護者も参加 当日予定されていた学習参観中止
1月 28、29日(木、金)	NRT学力検査 予定通り
2月 4日(木)	移行学級 給食体験を中止
2月 5日(金)	なわとび大会 1～3学年と4～6学年に分けて実施 例年全校
2月 18日(金)	学習参観 1・2・3学年、4・5・6学年に分かれて実施
2月 25日(木)	北星祭り 内容を検討、進級・卒業を祝うお祭りとして実施(全校)